

議案質疑あれこれ

9月13日本会議議案質疑、15日福祉建設委員会、16日総務文教委員会での主な質疑と答弁

1 平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定

問 町税の不納欠損額が10.2%増え、1千万円を超えたが、要因は何か。

答 不納欠損となるのは、財産がないことが明らかなもの、滞納処分分の執行停止から3年間継続したものの、法定納期限から5年間経過したものである。執行停止は解除もあり得る、個々によりタイミングが異なるため、27年度が増えた要因を特定するのは困難である。

問 とよまタウンバスの年間利用者数は全体では増えているが、北ルートは714人減っている。これをどのように考えるか。

答 平成24年のアンケート調査では北ルート利用者の約半数が小牧市民病院を利用していた。その後、町内に病院が増えたため利用者が減ったのではないかと推察する。ルート見直し等は、公共交通会議で検討していきたい。

問 指定管理となった「青山保育園」の総括はされたか。

答 平成28年2月に保護者アンケートを行っている。全体的に不満なく満足度が高かった。入園希望者も多くなっている。

問 プレミアム付き商品券発行事業の効果は。

答 商品券発行額は4440万円、使用額は4433万4500円であった。これを機会に、町内の店で購入するきっかけとなったのではないかと推察する。

2 平成28年度一般会計補正予算(第2号)

問 名古屋市営バス社会実験関連工事はどのような工事になるのか。

答 社会実験ルートは、青山下屋敷交差点を右折、バス停は青山東栄、社会教育センター前の2カ所を空港に至るコースである。青山東栄バス停について安全対策上の工事を行う。

3 訴えの提起および平成28年度一般会計補正予算(第3号)

■議案の内容

犬山市松浦病院(破産)による診療報酬不正請求を豊山町は診療報酬の返還請求権、損害賠償請求権の成否について、すべての債権を認めるよう主張してきた。破産債権として査定された額が0円となった。

債権確保のために、消滅時効の起算点および期間を争点として訴えを提起する。その手数料など7万4000円の補正予算である。

問 請求額はいくらか。また、どれくらいの返還を想定しているか。

答 請求額は加算金を含め153万39972円である。戻ってこない可能性もあると思っている。今後の手続きへの影響も考え、提訴に踏み切った。

問 いつ発生したのか。また、どれくらいの裁判期間を想定しているのか。

答 平成19年である。顧問弁護士の見込みであるが、1審に1年、2審に半年を想定している。

問 上訴まで考えているのか。

答 相手が上告する場合もある。その決意を持って提起した。こちらが敗訴の場合、その時に顧問弁護士と相談する。

